

平成23年度 市政懇談会(口之津地区)会議録

- 期 日 : 平成23年7月27日(水)19時30分～21時30分
 □ 場 所 : 口之津公民館
 □ 出席者数 : 48人

質疑内容	回答	回答者
<p>本市内で口之津、北有馬の小学校の統合が進んでいます。口之津、北有馬で統合した結果、統合の効果を把握されていますか。 早崎地区の果樹試験場が民間に払い下げられているようですが、すごくいい環境の中にあるので、市の財産としたらどうでしょうか。どうい状況なのかお聞きしたい。</p>	<p>①加津佐地区の小学校統合については、これからの予定です。口之津、北有馬につきましては、既に旧町で一つの小学校となっております。その当時の子供達に直接聞くことはできない状況で、資料は残っておりません。統合しなければよかったという意見はほとんど聞いていません。口之津と北有馬は校舎を新しく造り替えています。口之津は立派にモダンな校舎になっています。口之津は3つの学校がどこかに統合、吸収合併したのではなく、全く新しくなったので、一概に統合して良かったかどうかはわからない状況です。未統合地区については、保護者にアンケートを7月初旬に配り、現在集まったところで、夏休み中に分析していきます。保護者等の意見を聞き、地域の方を含めて秋に説明会を開催予定にしています。</p> <p>②果樹試験場につきましては、昨年の2月に平成27年度までに静岡の農林技術研究所に統合すると農研機構が打ち出しをされ、県、本市に説明がありました。本市は県、九州市長会をとおして、現状のままでの存続の要望を出している状況です。</p>	<p>①教育長 ②農林水産部長</p>
<p>果樹試験場のことについて、地区の住民にとっては全く役に立っていません。研究されているみかんの種類は熊本県、大分県の人たちが売りに出しています。地元の人に、全く役に立っていなかったということです。長崎県の南島原市で研究をし、何にもないということは無駄だったということです。定期的に害虫の散布をされています。風向きによっては近隣の自治会が被害に遭っています。自治会の人々が何回も苦情に行っています。もう少し行政も考えて、存続にしてください。</p>	<p>研究をされる訳ですので、研究の成果が品種改良され、全国に広がっていくことが研究者の役目です。地元の雇用の場や経済効果も計り知れないものがあり、要望している状況です。病害虫の駆除の件については、市から話をします。</p>	<p>農林水産部長</p>
<p>果樹試験場には農業高校を出た人が、熊本や大分等から来ます。その当時いろいろな果樹の研究をされているときに、地元には全く新品種がでず、熊本や大分からいろいろな品物が出されています。地元で品種改良され、熊本や大分で品物が作れるのですか。管理体制がなっていないので、枝を切って持って行くんですよ。</p>	<p>私は学校卒業後、みかん経営を3町していました。その当時、西日本はみかんを植える時期でした。試験場で開発された品種が長崎県でも普及されていました。試験場は九州ではここだけで、他県にも出ているのは事実です。最近は何の品種がどこにでているかは把握していません。管理体制は試験場の問題です。防除の被害については、初めて聞きました。これが、平成27年度に研究機関だけは静岡県興津拠点の方に統合される予定です。国の機関は、南島原市に置いてもらった方がいいため、存続のお願いをしています。事実は厳しい状況です。試験場に伝えます。</p>	<p>市長</p>
<p>口之津港開港450年ですが、若い人たちは来年どうするのと言っています。話せる範囲で説明をお願いします。</p>	<p>先月、口之津の方々から450年の音頭を市でとってほしいと要望がありました。その後、市の中で実行委員会を設立しました。まず、開港したのはポルトガル人アルメイダという人と、有馬義貞の時代を考えるとポルトガルとの関係ももう一度構築しなければいけないと考えています。先日、長崎市にあるポルトガルの領事館にお邪魔し、お願いしました。姉妹都市である与論、小豆島、天草市長とも話をし、祭りを盛り上げるためのご協力を依頼しました。船を招待する予定です。港底が浅いという話ですので、船のOBの方に水深を測ってもらうようになっています。佐世保海上自衛隊音楽隊にもお願いをするように考えています。全市を挙げてお祝いをしたいと考えています。今年の10月頃までに形が見え、記者発表できるころまでもっていくようにしたいと考えています。若い世代、子供たちに参加してもらい、まち全体の誇りになる取り組みをしたいと考えています。今後ともご協力をお願いします。</p>	<p>高田副市長</p>
<p>東大泊に教会跡の記念碑が建っています。開港450周年記念式典があるようですので、記念碑の上の法面のかずらがどうにもなりません。自治会でしようと思っても、高齢者ばかりでどうにもなりません。支所にも相談しましたが、まだ回答がありません。</p>	<p>①昨年度、墓地の法面は少し整備しました。 ②開港450年記念と関わりがあるので、詳しく話を伺い、検討します。 【後日回答】</p>	<p>①建設部長 ②市長</p>
	<p>【後日回答 対応済】 7月29日に現地を確認。葛が生茂っている状態であるが、根元は墓地からと思われ、法面部はコンクリートでされていることから市としては対応出来ない旨を説明。</p>	<p>建設課</p>

質疑内容	回答	回答者
<p>墓地内の大きな木が台風で倒木しました。墓地内の水道工事については、市で負担するとなり喜んでいますが、倒木した木の伐採を、釘山西と東で費用を折半し払うと話合い、業者に発注しています。市の負担や助成をしてもらえるのでしょうか。</p>	<p>宗教法人や管理組合で新たに墓地をつくられる場合、県の許可(市が事務を移譲)が必要です。墓地内の管理に対しての費用負担を市が負担することはできません。</p>	<p>市民生活部長</p>
<p>故意に壊した場合を除き、水道の破損は市で負担すると書類が届いています。</p>	<p>5人以上の共同墓地の使用料について、本来は利用者が負担しますが、現在、管理者(市)が負担しています。</p>	<p>水道部長</p>
<p>前回の懇談会時に、支所に予算を上乗せしてほしいと要望があったと思いますが、その後どうなりましたか。合併前に、早崎循環道をつくられましたが、山や土手を切り開いたりして草が生い茂っています。防災の日には、自分たちである程度草を切っていますが、今年は雨が早く、草の伸びが早い状況です。支所の方で切ってもらっていますが、時期が来たらもう一回くらい切ってもらいたいのので少し予算を上乗せしてください。</p>	<p>昨年も要望があり、作業員を配置し、できる分は対応しました。また、状況によっては再度対応していきます。予算につきましては、本庁予算になっています。作業員のいろいろな手配については、支所に対応しています。何かあれば支所もしくは、本庁に連絡をお願いします。</p>	<p>建設部長</p>
<p>現在の各支所の職員数を教えてください。</p> <p>学校教育課にお邪魔し、小学生で泳げない、泳げる統計をとっていますかと聞きました。最低、小学生が水泳教室があるので、泳げない子供がいない、金槌は少ないと誇れる市にする必要があると思えます。長い人生の中で、いつ何時に命が助かったとも限りません。</p> <p>ここもしてもらえませんか、と支所に相談したことがあります。支所には予算がありませんという回答でした。せめて、支所長決裁でいいのではないのでしょうか。それぞれの町でどう使うかわからないのでできませんという回答でした。8つの町が合併したのだから、少なくともそれぞれのまちの特徴があり、町のために活用し、どの町が予算を上手に使っているのかをしてみたいかがですか。仮に1支所あたり500万円の予算をつけてみたらどうですか。</p>	<p>①支所別職員数は、加津佐11人、口之津10人、南有馬10人、北有馬9人、有家10人、布津9人、深江11人、西有家は市民サービス課11人、旧町単位の人口等に配慮した職員配置になっています。</p> <p>②学校教育課では具体的な調査はしたことがありません。学校では夏休みに入る前に、授業の中で水泳の授業をしています。夏休みには、社会体育の一環として泳げない子を集めた水泳教室を実施しています。プールは大丈夫だけど、海は駄目というケースもあります。特に水難事故防止等のため、南島原市の子供で、泳げない子供がいないように取り組んでいきます。</p> <p>③今、行政改革という中で、職員数も620数名から540数名となりました。更に、460数名まで削減していく市の計画になっています。決裁権を与えると、仕事が増えるため、今年度からということができませんでした。今検討をしているところです。どれだけの金額を支所長に与えるかということになり、更に詰めていきたいと考えています。最初、分庁が本庁方式になり、現在の職員数になり、サービス低下につながっていると聞いてきました。充実させるため、早急に結論を出し、皆様のご要望に応える体制をつくってきたいと考えています。</p>	<p>①総務部長 ②教育長 ③市長</p>
<p>社会教育施設の公民館の使用料についてお願いします。</p> <p>平成19年7月から半年間実施された「生き生きしゅう会」の卒業生で、「生き生きスマイル会」という、高齢者の介護予防活動を展開しています。現在、月2回実施。活動内容は出前講座や統合小学校、海上技術学校、果樹試験場、特老等の施設を訪問し勉強しております。</p> <p>70歳以上の食事関係で簡単に栄養のあるものを、楽しくいきいきとバランスよい食事をするために、社協の栄養士を招き調理実習をしていました。今年の3月までは使用料免除でした。今年の4月から自主団体との均衡を図るために、使用料を徴収しますという通知を受けました。現在は使用料を納めています。</p> <p>市長の施政方針の中で、「人が元気に、まちが元気になるまちづくり」を掲げられています。生き生きしゅう会も高齢者の生きがいの一つであり、介護予防になっています。人が元気になるまちづくりのために、今までどおり使用料の免除をお願いしたい。</p> <p>生き生きスマイル会の調理実習は年に2、3回は高齢者に必要なんです。一人暮らしの人が4人おり、食事が簡単になっています。要介護にならないために、活動を継続しておりますのでご検討をお願いします。</p>	<p>①社会教育、社会体育にしても、多数施設を持ち、原則として体育協会、文化協会に加盟している団体の減免はしておりますが、自主的な団体については使用料を徴収している状況です。基準としてはある一定の線を引いている状況です。</p> <p>②公民館の使用料につきましては、他の自主団体は使用料を徴収していることから、均衡を失しないようするため、介護予防の自主グループについても使用料をいただくようになりました。</p> <p>③いろいろな会とのバランスがあります。検討をさせていただきます。【後日回答】</p>	<p>①教育長 ②福祉保健部長 ③市長</p>
	<p>【後日回答 対応済】</p> <p>再度、生涯学習課と内部協議を行い、社会教育関係団体の自主グループにおいても減免は実施していないことから、他団体との均衡を図る上から利用者負担は必要であるとの結果となった。これをもとに9月2日生き生きスマイル会の質疑者にその旨、ご理解をいただきたいと電話をお願いをした。</p>	<p>教育次長</p>

質疑内容	回答	回答者
<p>なぜ合併なのかと平成13年度の資料を見たら、地方分権の推進、人口減少、少子高齢社会の対応、日常生活圏の拡大、行政基盤の強化と記載されています。何回か話を聞いていく中で、現在の8町合併に至っています。この何年間かの様子を見て、うまく進んでいるのかと非常に不安を持っています。市役所は当初は総合支所でありましたが、現在は支所になり、人も減りました。大変寂しい状況です。あまり希望がもてるような状況は考えづらいです。跡を継ぐ子供が、外から帰ってくる可能性はありますが、合併して地方分権の意識は生かされているのですか。日常生活圏の拡大とありますが、交通の便は大変悪くなっています。生活圏は広がったけど高齢者に対しては不便になっています。島原に行きたいけど、車の運転はできない、希望が持てない状況がどんどん迫ってきている気がしています。明るい見通しを話してほしい。</p>	<p>貴重なご意見であります。切実な思いであると思います。細かく申し上げると、合併前有家町の責任者として、口之津町長と協議してきました。合併は過去、明治、昭和、平成の大合併と、時の流れとともに合併が行われてきました。平成の大合併の結果というのは、見通しのつかないところですが、そうであってはいけません。行き着くところは国の財政的に厳しくなったということが原因です。長崎は西の果てで、島も多く、日本で合併の先進国でした。合併しないでもいい、裕福な市、町もあります。何らかの理由があり、原発で問題になっていますが、特別な収入があります。一番感じたのは、有家、西有家、南有馬に本庁、旧町については職員が減っています。市民サービスが以前のようにできていないと感じてきており、100パーセント回復は物理的には無理ですが、皆さんが気持ちの面で安心して生活できる体制をつくる必要があります。支所に対しての権限、市民の皆さんが支所でお尋ねをされる、本庁に聞いてくださいではなく、支所でもある程度の内容まで答えられる職員の資質向上を図っていかねばいけません。8力町、それぞれの特徴を生かしたまちづくりを検討しています。</p>	市長
<p>希望を持って生活をしていきます。私たちの希望を失わせない立場となられないようにお願いします。</p>	<p>一生懸命頑張っていきます。</p>	市長
<p>今、のら猫が増えています。犬、猫の対策のため、職員に来てもらいましたが、方法がなく帰られました。猫一匹200円の回覧が回ってきました。回覧があったせいかわかりませんが、捨て猫が増えました。えさをやるので、そんなことをするなと言ってもかわいそうとなります。畑は荒らすし、犬の糞は道路に捨てて行ったり、西大泊等にちり紙がたくさん捨ててあります。処分の料金を取らずにしたらどうですか。</p>	<p>市ではどうしても飼えなくなった犬猫については、各支所で引き取るように対応しています。いずれにしても野犬化、野良猫にならないように、散歩の途中で糞を放置されないように、広報紙等でお願いし、市ホームページに掲載しています。年に一回広報紙に掲載し、周知徹底していきます。 内容につきましては、後日連絡します。【後日回答】</p>	市民生活部長
	<p>【後日回答 対応済】 8月2日に回答書を質疑者に送付して対応した。内容は、動物愛護及び管理に関する法律に基づき、有料で引き取ります。市として自治会や市民と連携して、のら犬を増やさないように適正な飼育管理について、普及啓発を強化していきますので、ご協力をお願いします。</p>	環境課
<p>プール使用について、このごろ夜に使用ができ助かっています。他のスポーツと違って、夏場のしばらくしか使用できないので、開放期間を長くしてください。6月～9月は使用をできるようにしてください。</p>	<p>プールの使用につきましては、条例で6月～9月、施設ごとで夜間に使用できるように規定されているものや、午後5時まで等、夜間管理等の体制が統一ではありません。プールは学校施設と社会体育施設があり、社会体育施設は一般市民に開放しています。開放期間については、今後検討をさせていただきます。</p>	教育次長
<p>島鉄跡地に草が生い茂り通れません。最近、へびが多く発生します。市の方で伐採をしてください。個人ではできないので、市で何とかしてください。</p>	<p>島鉄用地については、ご要望を受けて、島鉄に申し上げています。用地は民地であり、そこだけを切ることはできません。沿線32.4キロあります。非常に草が生い茂り、へびや蜂が発生し、危険な場所もあります。そういった場所には、入らないように促してください。どうしてもしてほしいという要望があれば、島鉄の方に強く申し上げたいと思います。市がお金を投じて全線草の伐採をやると、膨大な額となります。</p>	企画振興部長
<p>財政基盤の強化が、合併の未来の中にあると話しました。よく新聞をみると、財政基盤強化＝人件費削減と結びつく文書が多く記載されています。そういうことをやることによって、お金の浮きが出てきます。口之津に図書館があります。昨年まで勤めていた若い女性がいいます。退職されています。どういう就職の道をされたかという、他県に勉強に行かれていたり、自宅にじっとしている状況です。人口流出にもつながるし、長い目で見た場合、財政基盤の強化につながるのかと疑問に思っています。そのことは考え直すところがあるのではと思います。もっと仕事したい人が地元に残る、いろいろな面でマイナスに働いていると感じています。</p>	<p>財政基盤の強化をするための手段は、今おっしゃったことにつながっています。合併をすれば、8力町それぞれにいた町長、助役、議会、合併をすれば長は一人です。国は財政基盤の強化と言っていましたが、実際にスリム化、会社にすればリストラになったのが、合併の目的であったわけです。職員、議員、首長を減らす。可能な限り、市が行っている公営企業については、民間にお願いをと国の官から民への流れの中になりました。一方は民間に仕事の間を与えるとなっています。経費の縮小等を目的につながっています。全体的に、市の活性化につながるのかといえばなかなか難しいところがあります。いずれにしても、若い人の働く場がなくなっているのは事実です。市としては地場産業の振興を図ることが第一です。次は企業誘致ですが、地の利の便が悪いですが、市の歴史文化・自然を望んでいる企業があると聞いています。東京にも、企業誘致の嘱託職員も配置しています。企業誘致の情報を提供してもらって体制をとっているところですが、一人でも多くの住民が、地元で働ける取り組みをしているところです。</p>	市長

質疑内容	回答	回答者
<p>この会場も省エネで温度を何度かあげていらっしやと思います。2時間でこれだけのエネルギー節約ができましたと、一言住民に伝えることも面白いと思います。</p> <p>行事が行われる場合に、ありえコレジヨホールが使いやすいと思うので、催しが多いです。加津佐からだ、往復1時間掛かります。各町でできる行事であれば、各町で実施していただき、地域の住民が参加しやすいよう配慮できないでしょうか。先日の市川森一氏の講演会は原城の話なので、原城文化センターだった方が効果的だったと思いました。</p>	<p>①この部屋のエアコンの半分が故障しています。節電ではありませんのでご了承ください。</p> <p>②節電は市も取り組んでいます。市民の皆さんにもお願いしています。大きな行事になれば、ありえコレジヨホールになっています。できるイベントについては、各町に分散して、事業をするように私から話をします。</p> <p>③関東、東北、九州では節電が呼び掛けられています。市としても7月の広報紙で各家庭に周知しました。市役所が率先して節電をやろうということで各種節電に取り組んでおり、昼休みには窓口を除き照明を消したり、エアコン設定温度を28度、ノーネクタイについては6月中旬から10月まで延長し実施しています。二酸化炭素の排出量からいけば、もうすでに平成24年度の目標数値を達成しています。8庁舎の節電は、行えるだけ行っています。各学校も節電に努めています。市民の皆さんには、熱中症対策のため、適度な節電をお願いします。</p>	<p>①秘書広報課 ②市長 ③市民生活部長</p>
<p>乗り合いタクシーの実証実験をされた時期がありました。利用者が少なく、今に至っていると思います。福祉タクシー利用者の所得制限をされているのですか。島原の路地を走っているのは小さなバスです。早崎循環道のバスは中型や大型バスです。ジャンボタクシーの方が省エネだと思います。</p>	<p>①乗り合いタクシーの実証実験を行いました。利用率が低い結果でした。利用が低いため、会社自体も営業が成り立たず、本格運行することが難しくなりました。そのため、市長のマニフェストにありました福祉タクシー券発行になりました。以前、市から小さいバスでいいのではと相談した結果、配車、運転手など、ロスのない方法が経費的に安いと島鉄から回答がありました。赤字路線には市から補助を出しており、移動させたり、バスを新たに購入した方が経費が掛かる状況から、現状を維持している状況です。</p> <p>②所得制限は設けておりません。年齢で75歳以上の方、ある一定の障害等級の方、日々の生活に移動手段で困難の方に交付を行っています。</p>	<p>①企画振興部長 ②福祉保健部長</p>